

2019年度 高校3年

教科	地歴公民科	科目	地理B	単位数	4
コース	未来創造コース		クラス	1～6組	
教科書	帝国書院「新詳地理B」 二宮書店「基本地図帳」				
副教材	帝国書院「新詳地理資料 2018」 とうほう「ウィニングコンパス 地理の整理と演習」				
期間	授業内容		学習到達目標		
1 学 期 中 間	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 2章 資源と産業 1節 世界の農林水産業 2節 食料問題 3節 世界のエネルギー・鉱産資源 4節 資源・エネルギー問題 5節 世界の工業 6節 第3次産業		<ul style="list-style-type: none"> 産業の発達と変化について、自然環境との関わりやグローバル化に関する考察を基に、産業の発達と変化を理解する。 問題集を用いて問題演習を行う。 		
1 学 期 期 末	7節 世界を結ぶ交通・通信・貿易 8節 現代世界の貿易と経済圏 3章 人口・村落・都市 4章 生活文化、民族・宗教		<ul style="list-style-type: none"> 各分野において、発達・機能・分布などを考察して、系統地理的な視点でとらえる。また、一体化と地域的差異を考察する。 問題集を用いて問題演習を行う。 		
2 学 期 中 間	第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察 1章 現代世界の地域区分 2章 現代世界の諸地域 2節 東アジア 3節 東南アジア 4節 南アジア 5節 西・中央アジア 6節 アフリカ 7節 ヨーロッパ 8節 ロシア		<ul style="list-style-type: none"> 各地域について、形式的な地域区分に基づき、地形と気候、民族と人口、食生活と農業、工業化と経済発展、交流という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。 問題集を用いて問題演習を行う。 		
2 学 期 期 末	9節 アングロアメリカ 10節 ラテンアメリカ 11節 オセアニア 3章 現代世界と日本 総合演習		<ul style="list-style-type: none"> アングロアメリカ～オセアニア地域について、地形と気候、民族と人口、食生活と農業、工業化と経済発展、交流という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。 問題集を用いて問題演習を行う。 		
備考					
<p>大学入試では、用語や地名の知識も必要だが、地図や図表から地理的な特徴を見極めて判断する力が特に重要となる。「覚える」のではなく「考える」ことを意識して授業に臨むこと。</p>					

2019年度 高校3年

教科	地歴公民科	科目	地理B	単位数	4
コース	Will-Frontier コース		クラス	7～9組	
教科書	帝国書院「新詳地理B」 二宮書店「基本地図帳」				
副教材	帝国書院「新詳地理資料 2018」 とうほう「ウィニングコンパス 地理の整理と演習」				
期間	授業内容		学習到達目標		
1 学 期 中 間	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 2章 資源と産業 1節 世界の農林水産業 2節 食料問題 3節 世界のエネルギー・鉱産資源 4節 資源・エネルギー問題 5節 世界の工業 6節 第3次産業		<ul style="list-style-type: none"> 産業の発達と変化について、自然環境との関わりやグローバル化に関する考察を基に、産業の発達と変化に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、論理的に捉える。 問題集を用いて問題演習を行う。 		
1 学 期 期 末	7節 世界を結ぶ交通・通信・貿易 8節 現代世界の貿易と経済圏 3章 人口・村落・都市 4章 生活文化、民族・宗教		<ul style="list-style-type: none"> 各分野において、発達・機能・分布などを考察して、系統地理的な視点でとらえる。また、一体化と地域的差異を考察し、日本と比較する。 問題集を用いて問題演習を行う。 		
2 学 期 中 間	第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察 1章 現代世界の地域区分 2章 現代世界の諸地域 2節 東アジア 3節 東南アジア 4節 南アジア 5節 西・中央アジア 6節 アフリカ 7節 ヨーロッパ 8節 ロシア		<ul style="list-style-type: none"> 各地域について、形式的な地域区分に基づき、地形と気候、民族と人口、食生活と農業、工業化と経済発展、交流という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。 問題集を用いて問題演習を行う。 		
2 学 期 期 末	9節 アングロアメリカ 10節 ラテンアメリカ 11節 オセアニア 3章 現代世界と日本 総合演習		<ul style="list-style-type: none"> アングロアメリカ～オセアニア地域について、地形と気候、民族と人口、食生活と農業、工業化と経済発展、交流という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。 問題集を用いて問題演習を行う。 		
備考					
<p>大学入試では、用語や地名の知識も必要だが、地図や図表から地理的な特徴を見極めて判断する力が特に重要となる。複数の地図や地理的な要素を重ね合わせて「考える」ことを意識して授業に臨むこと。</p>					

2019年度 高校3年

教科	地歴公民科	科目	世界史B	単位数	5単位
コース	未来創造コース		クラス	1～3組	
教科書	山川出版社「詳説世界史B」				
副教材	第一学習社「グローバルワイド 最新世界史図表」 山川出版社「世界史B用語集」「世界史 一問一答」 山川出版社「センター試験への道 世界史 問題と解説」 啓隆社「新 世界史研究ノート 標準編」				
期間	授業内容		学習到達目標		
1 学 期 中 間	第12章 アジア諸地域の動揺 第13章 帝国主義とアジアの民族運動		・世界市場の形成を背景にしたヨーロッパ諸国のアジアへの干渉と、アジアにおけるナショナリズムの萌芽を理解する。		
1 学 期 期 末	第14章 二つの世界大戦		・第一次大戦・第二次大戦の期間における国際秩序の大きな変化や、国際社会の政治・経済の動向を理解する。		
2 学 期 中 間	第15章 冷戦と第三世界の自立 第16章 現在の世界 ◇各国史復習〔アジア①〕		・戦後の冷戦体制と、アジア・アフリカ諸国の躍進を理解する。 ・政治経済が多極化したことを理解する。 ・アジアの各国別に歴史の流れを復習し、大学受験に対応できるための知識を習得する。		
2 学 期 期 末	◇各国史復習〔アジア②・アフリカ〕 ◇各国史復習〔欧米・オセアニア〕 ◇センター過去問演習		・各国別に歴史の流れを復習し、大学受験に対応できるための知識を習得する。 ・センター過去問の解説。		
備考					
未来創造コースとして、センター試験や関大・産近甲龍などの私立大学受験を想定した内容を学んで理解し、2学期の授業終了後は過去問演習を実施し、受験対策に特化していく。					

2019年度 高校3年

教科	地歴公民科	科目	世界史B	単位数	5単位
コース	Will-Frontier コース		クラス	7・9組	
教科書	山川出版社「詳説世界史B」				
副教材	第一学習社「グローバルワイド 最新世界史図表」 山川出版社「世界史B用語集」「世界史 一問一答」 山川出版社「センター試験への道 世界史 問題と解説」 啓隆社「新 世界史研究ノート 標準編」				
期間	授業内容		学習到達目標		
1 学 期 中 間	第12章 アジア諸地域の動揺 第13章 帝国主義とアジアの民族運動		・世界市場の形成を背景にしたヨーロッパ諸国のアジアへの干渉と、アジアにおけるナショナリズムの萌芽を関連させて理解する。		
1 学 期 期 末	第14章 二つの世界大戦		・第一次大戦・第二次大戦の期間における国際秩序の大きな変化や、国際社会の政治・経済の動向を現代と結びつけて理解する。		
2 学 期 中 間	第15章 冷戦と第三世界の自立 第16章 現在の世界 ◇各国史復習〔アジア①〕		・戦後の冷戦体制と、アジア・アフリカ諸国の躍進を理解する。 ・政治経済が多極化したことを理解する。 ・アジアの各国別に歴史の流れを復習し、大学受験に対応できるための知識を習得する。		
2 学 期 期 末	◇各国史復習〔アジア②・アフリカ〕 ◇各国史復習〔欧米・オセアニア〕 ◇センター過去問演習		・各国別に歴史の流れを復習し、難関大学受験に対応できるための知識を習得する。 ・センター過去問の解説。		
備考					
Will-Frontier コースとして、因果関係や地域的な広がりなど、国公立大学や難関私立大学の受験を想定する内容を学んで理解し、2学期の授業終了後は過去問演習を実施し、受験対策に特化していく。					

2019年度 高校3年

教科	地歴公民科	科目	世界史演習	単位数	4単位
コース	未来創造コース		クラス	1～3組	
教科書	山川出版社「詳説世界史」				
副教材	河合出版「関関同立大世界史」 第一学習社「グローバルワイド最新世界史図表」 山川出版社「世界史B用語集」 山川出版社「世界史 一問一答」 山川出版社「センター試験への道 世界史 問題と解説」 啓隆社「新 世界史研究ノート 標準編」				
期間	授業内容		学習到達目標		
1 学 期 中 間	序章 先史の世界 第1章 オリエン特と地中海世界 第2章 アジア・アメリカの古代文明 第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成		・先史時代、古代オリエン特・地中海、五代十国時代までの中国、および古代アメリカ文明について、その歴史の流れと基本的な歴史用語について理解する。		
1 学 期 期 末	第4章 イスラーム世界の形成と発展 第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展 第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開 第7章 アジア諸地域の繁栄 第8章 近世ヨーロッパ世界の形成		・イスラーム世界の形成から諸地域のイスラーム化の過程、中世～近世前半のヨーロッパ、宋～18世紀までの中国とその時代のアジアについて、その歴史の流れと基本的な歴史用語について理解する。		
2 学 期 中 間	第9章 近世ヨーロッパ世界の展開 第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 第11章 欧米における近代国民国家の発展 第12章 アジア諸地域の動揺 第13章 帝国主義とアジアの民族運動 第14章 二つの世界大戦		・近世後半～第二次大戦までのヨーロッパ・アメリカ、19世紀～第二次大戦までの中国とその時代のアジアについて、その歴史の流れと基本的な歴史用語について理解する。		
2 学 期 期 末	第15章 冷戦と第三世界の独立 第16章 現在の世界 テーマ別演習・過去問演習		・第二次大戦後の世界について、その歴史の流れと基本的な歴史用語について理解する。 ・テーマ別演習および過去問演習を行い、入試を突破する力を身につける。		
備考					
履修済みの単元から、中堅国公立大学や関大・産近甲龍などの私立大学受験を想定した演習を行い、受験対策を行う。					

2019年度 高校3年

教科	地歴公民科	科目	日本史B	単位数	5単位
コース	未来創造コース		クラス	1～3組	
教科書	山川出版社「詳説日本史B」				
副教材	第一学習社「最新 日本史図表 新版」 山川出版社「詳説 日本史史料集」 山川出版社「日本史用語集」 山川出版社「一問一答 日本史」 山川出版社「センター試験への道 日本史 問題と解説」 啓隆社「新日本史要点ノート 応用編」				
期間	授業内容		学習到達目標		
1 学 期 中 間	第9章 近代国家の成立 1 開国と幕末の動乱 2 明治維新と富国強兵 3 立憲国家の成立と日清戦争 4 日露戦争と国際関係		<ul style="list-style-type: none"> ・開国から明治維新，明治新政府による富国強兵・殖産興業政策推進を理解する。 ・自由民権運動と立憲国家形成過程を理解する。 ・日清・日露戦争の勝利と，その後の日本による植民地支配の推進について理解する。 		
1 学 期 末	5 近代産業の発展 6 近代文化の発達 第10章 二つの世界大戦とアジア 1 第一次世界大戦と日本 2 ワシントン体制 3 市民生活の変容と大衆文化		<ul style="list-style-type: none"> ・資本主義の基礎確立過程を理解する。 ・日本の近代文化の特色を理解する。 ・第一次大戦前後の政治・外交政策の推移に関して，戦後のワシントン体制と日本の国際協調体制確立を理解する。 ・都市化による大衆文化の登場を理解する。 		
2 学 期 中 間	4 恐慌の時代 5 軍部の台頭 6 第二次世界大戦 第11章 占領下の日本 1 占領と改革 2 冷戦の開始と講和 第12章 高度成長の時代 1 55年体制 2 経済復興から高度成長へ 第13章 激動する世界と日本 1 経済大国への道 2 冷戦の終結と日本社会の動揺		<ul style="list-style-type: none"> ・恐慌の結果，政治・経済が動揺し，軍部の台頭を招いたことを理解する。 ・日中戦争の勃発から太平洋戦争の敗北にいたる，全体主義的な国家体制の展開を理解する。 ・戦後の占領と民主化政策に伴う諸改革を学び，日本国憲法制定の意義を理解する。 ・日本独立後の55年体制成立経過を理解する。 ・高度経済成長の進展と、そのひずみの公害などの社会問題について理解し，成長終焉後の国内外の政治国際状況について理解する。 ・冷戦終結後の国際関係の変化と，21世紀の日本の政治・経済・外交の現状を理解する。 		
2 学 期 末	問題演習		<ul style="list-style-type: none"> ・センター試験の過去問，関大や産近甲龍などの私立大学の過去問の演習を通して全体的な復習を行うとともに，高得点を取ることができる力を身につける。 		
備考					
未来創造コースとして，センター試験や関大・産近甲龍などの私立大学の受験を想定した内容を学んで理解し，2学期の授業終了後は過去問演習を実施し，受験対策に特化していく。					

2019年度 高校3年

教科	地歴公民科	科目	日本史B	単位数	5単位
コース	Will-Frontier コース		クラス	7・9組	
教科書	山川出版社「詳説日本史B」				
副教材	第一学習社「最新 日本史図表 新版」 山川出版社「詳説 日本史史料集」 山川出版社「日本史用語集」 山川出版社「一問一答 日本史」 山川出版社「センター試験への道 日本史 問題と解説」 啓隆社「新日本史要点ノート 応用編」				
期間	授業内容		学習到達目標		
1 学 期 中 間	第9章 近代国家の成立 1 開国と幕末の動乱 2 明治維新と富国強兵 3 立憲国家の成立と日清戦争 4 日露戦争と国際関係		<ul style="list-style-type: none"> ・開国から明治維新, 明治新政府による富国強兵・殖産興業政策推進を理解する。 ・自由民権運動と立憲国家形成過程を理解する。 ・日清・日露戦争の勝利と, その後の日本による植民地支配の推進について理解する。 		
1 学 期 末	5 近代産業の発展 6 近代文化の発達 第10章 二つの世界大戦とアジア 1 第一次世界大戦と日本 2 ワシントン体制 3 市民生活の変容と大衆文化		<ul style="list-style-type: none"> ・資本主義の基礎確立過程を理解する。 ・日本の近代文化の特色を理解する。 ・第一次大戦前後の政治・外交政策の推移に関して, 戦後のワシントン体制と日本の国際協調体制確立を理解する。 ・都市化による大衆文化の登場を理解する。 		
2 学 期 中 間	4 恐慌の時代 5 軍部の台頭 6 第二次世界大戦 第11章 占領下の日本 1 占領と改革 2 冷戦の開始と講和 第12章 高度成長の時代 1 55年体制 2 経済復興から高度成長へ 第13章 激動する世界と日本 1 経済大国への道 2 冷戦の終結と日本社会の動揺		<ul style="list-style-type: none"> ・恐慌の結果, 政治・経済が動揺し, 軍部の台頭を招いたことを理解する。 ・日中戦争の勃発から太平洋戦争の敗北にいたる, 全体主義的な国家体制の展開を理解する。 ・戦後の占領と民主化政策に伴う諸改革を学び, 日本国憲法制定の意義を理解する。 ・日本独立後の55年体制成立経過を理解する。 ・高度経済成長の進展と, そのひずみの公害などの社会問題について理解し, 成長終焉後の国内外の政治国際状況について理解する。 ・冷戦終結後の国際関係の変化と, 21世紀の日本の政治・経済・外交の現状を理解する。 		
2 学 期 末	問題演習		<ul style="list-style-type: none"> ・センター試験の過去問, 国公立大学の過去問, 関関同立などの難関私立大学の過去問の演習を通して全体的な復習を行うとともに, 合格答案を書ける力を身につける。 		
備考					
Will-Frontier コースとして, 国公立大学や難関私立大学の受験を想定した内容を学んで理解し, 2学期の授業終了後は過去問演習を実施し, 受験対策に特化していく。					

2019年度 高校3年

教科	地歴公民科	科目	日本史演習	単位数	4単位
コース	未来創造コース		クラス	1～3組	
教科書	山川出版社「詳説日本史B」				
副教材	河合出版「関関同立大 日本史」 山川出版社「センター試験への道 日本史 問題と解説」				
期間	授業内容		学習到達目標		
1 学 期 中 間	「関関同立大 日本史」 1～15 「原始の生活と遺物」～ 「平安時代の文化総合」 「センター試験への道」 1～3 「日本文化のあけぼの」～ 「貴族政治と国風文化」		・原始～古代までの政治・外交史・文化の流れ及び歴史用語について復習し、関関同立とセンター試験の過去問演習を通して理解を深める。		
1 学 期 期 末	「関関同立大 日本史」 16～28 「鎌倉幕府の確立」～ 「中世の文化総合」 29～39 「戦国大名の分国経営と織豊政権」～「農村の変容と百姓一揆」 40～45 「江戸時代の儒学」～ 「列強の接近」 「センター試験への道」 4～8 「中世社会の成立」～ 「幕藩体制の動揺」		・中世～近世までの政治・外交史・文化の流れ及び歴史用語について復習し、関関同立とセンター試験の過去問演習を通して理解を深める。		
2 学 期 中 間	「関関同立大 日本史」 46～63 「開国と貿易の開始」～ 「戦時体制の確立」 「センター試験への道」 9～10 「近代国家の成立」～ 「二つの世界大戦とアジア」		・幕末～太平洋戦争の終結までの政治・外交史・文化の流れ及び歴史用語について復習し、関関同立とセンター試験の過去問演習を通して理解を深める。		
2 学 期 期 末	「関関同立大 日本史」 64～69 「戦後改革」～ 「近現代の文化総合」 「関関同立大 日本史」 テーマ史1～7 「法制史」～ 「文学史」 「センター試験への道」 11～14 「占領下の日本」～ 「総合問題」		・戦後史の政治・外交史・文化の流れ及び歴史用語について復習し、関関同立とセンター試験の過去問演習を通して理解を深める。その後、関関同立はテーマ史、センター対策は、総合問題を解いていく。		
備考					
履修済みの単元から、中堅国公立大学や関大・産近甲龍などの私立大学受験を想定した演習を行い、受験対策を行う。					

2019年度 高校3年

教科	地歴公民科	科目	倫理政経	単位数	4単位
コース	未来創造コース		クラス	1～3組	
教科書	実教出版「高校倫理」 東京書籍「政治・経済」 第一学習社「高校現代社会」				
副教材	第一学習社「テオリア最新倫理資料集」 とうほう「政治経済資料 2017」				
期間	授業内容		学習到達目標		
1 学 期 中 間	<p>[倫理分野]</p> <p>1 人間としての自覚 1</p> <p>[政治経済分野]</p> <p>1 国際政治の動向と日本の役割</p> <p>2 現代の経済社会と私たちの生活</p>		<p>[倫理分野]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古代ギリシャの源流思想を理解する。 ・キリスト教の成立とその発展を理解する。 <p>[政治経済分野]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際政治の特色，国際連合，軍縮を理解する。 ・資本主義経済のしくみを理解する。 <p>○自ら復習し，他の生徒に説明できる。</p>		
1 学 期 期 末	<p>[倫理分野]</p> <p>2 人間としての自覚 2</p> <p>3 現代に生きる人間の倫理 1</p> <p>[政治経済分野]</p> <p>3 現代の経済社会と私たちの生活</p>		<p>[倫理分野]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三大宗教と中国思想を理解する。 ・ルネサンスから宗教改革，モラリストを理解する。 <p>[政治経済分野]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マクロ経済の基本について学び，政府と金融機関の役割を理解する。 		
2 学 期 中 間	<p>[倫理分野]</p> <p>3 現代に生きる人間の倫理 2</p> <p>[政治経済分野]</p> <p>4 金融機関のはたらき</p> <p>5 戦後の日本経済の動き</p> <p>6 国際経済のしくみと貿易の拡大</p> <p>7 国際経済の動向</p>		<p>[倫理分野]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イギリス経験論，大陸合理論，社会契約説，ドイツ観念論を理解する。 ・功利主義，プラグマティズム，社会主義，実存主義から現代哲学までを理解する。 <p>[政治経済分野]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融機関の経済的役割を理解する。 ・日本経済史と，各時代の産業構造を理解する。 ・国際経済のしくみと貿易について理解する。 		
2 学 期 期 末	<p>[倫理分野]</p> <p>4 日本人としての自覚</p> <p>5 青年期の課題と自己形成</p> <p>6 現代の諸課題と倫理</p> <p>[政治経済分野]</p> <p>8 国際経済の動向と日本の役割</p> <p>9 現代の経済社会と私たちの生活</p>		<p>[倫理分野]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本神話の時代から現代思想までを理解する。 ・青年期心理，生命倫理，環境倫理，現代家族，情報社会までを理解する。 <p>[政治経済分野]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際経済の中で日本が果たす役割，産業構造の変化から環境問題，消費者問題，社会保障制度までを理解する。 		
備考					
未来創造コースとして，中堅国公立大学や関大・産近甲龍などの私立大学受験を想定した内容を学んで理解し，2学期の授業終了後は過去問演習を実施し，受験対策に特化していく。					

2019年度 高校3年

教科	地歴公民科	科目	倫理政経	単位数	4単位
コース	Will-Frontier コース		クラス	7・9組	
教科書	実教出版「高校倫理」 東京書籍「政治・経済」 第一学習社「高校現代社会」				
副教材	第一学習社「テオリア最新倫理資料集」 とうほう「政治経済資料 2017」				
期間	授業内容		学習到達目標		
1 学 期 中 間	<p>[倫理分野]</p> <p>1 人間としての自覚 1</p> <p>[政治経済分野]</p> <p>1 国際政治の動向と日本の役割</p> <p>2 現代の経済社会と私たちの生活</p>		<p>[倫理分野]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古代ギリシャの源流思想を理解する。 ・キリスト教の成立とその発展を理解する。 <p>[政治経済分野]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際政治の特色，国際連合，軍縮を理解する。 ・資本主義経済のしくみを理解する。 <p>○自ら復習し，他の生徒に説明できる。</p>		
1 学 期 期 末	<p>[倫理分野]</p> <p>2 人間としての自覚 2</p> <p>3 現代に生きる人間の倫理 1</p> <p>[政治経済分野]</p> <p>3 現代の経済社会と私たちの生活</p>		<p>[倫理分野]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三大宗教と中国思想を理解する。 ・ルネサンスから宗教改革，モラリストを理解する。 <p>[政治経済分野]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マクロ経済の基本について学び，政府と金融機関の役割を理解する。 <p>○自ら復習し，他の生徒に説明できる。</p>		
2 学 期 中 間	<p>[倫理分野]</p> <p>3 現代に生きる人間の倫理 2</p> <p>[政治経済分野]</p> <p>4 金融機関のはたらき</p> <p>5 戦後の日本経済の動き</p> <p>6 国際経済のしくみと貿易の拡大</p> <p>7 国際経済の動向</p>		<p>[倫理分野]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イギリス経験論，大陸合理論，社会契約説，ドイツ観念論を理解する。 ・功利主義，プラグマティズム，社会主義，実存主義から現代哲学までを理解する。 <p>[政治経済分野]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融機関の経済的役割を理解する。 ・日本経済史と，各時代の産業構造を理解する。 ・国際経済のしくみと貿易について理解する。 <p>○自ら復習し，他の生徒に説明できる。</p>		
2 学 期 期 末	<p>[倫理分野]</p> <p>4 日本人としての自覚</p> <p>5 青年期の課題と自己形成</p> <p>6 現代の諸課題と倫理</p> <p>[政治経済分野]</p> <p>8 国際経済の動向と日本の役割</p> <p>9 現代の経済社会と私たちの生活</p>		<p>[倫理分野]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本神話の時代から現代思想までを理解する。 ・青年期心理，生命倫理，環境倫理，現代家族，情報社会までを理解する。 <p>[政治経済分野]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際経済の中で日本が果たす役割，産業構造の変化から環境問題，消費者問題，社会保障制度までを理解する。 <p>○自ら復習し，他の生徒に説明できる。</p>		
備考					
Will-Frontier コースとして，国公立大学や難関私立大学受験を想定する内容を学んで理解し，2学期の授業終了後は過去問演習を実施し，受験対策に特化していく。					